

## Hongwanji Buddhist Mission of Australia

## シドニー本願寺報

732 Pacific Highway, Gordon  
PO Box 292 Lindfield (Sydney)  
N.S.W. 2070 AUSTRALIA  
Phone : (02) 9403-1256  
Email : hbma@optusnet.com.au  
http://www.hongwanji.com.au



### 新型コロナウイルス感染症に 関する念仏者としての声明

「現在、新型コロナウイルス感染症は世界中に拡がり、収束する気配を見せていません。日本でも緊急事態宣言が発令されるなど、状況は新たな段階に入っています。

まず、このたびの新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた国内外の多くの方々に

謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患されている皆さまに心よりお見舞い申しあげます。さらに、特に高い感染リスクにさらされながらも、懸命に治療・対策にあたられている医師、看護師をはじめとする医療従事者の方々に深く敬意と感謝を表します。

こうした危機的な状況において、世界中の人びとが共に力を合わせ、励まし合って対応しています。しかし、症状が出ないために感染に気づいていない人の行動が、感染拡大の一因となっている場合もあるのではないかと指摘されています。感染症の危険性や対処法を正しく理解し、実行するとともに、差別や偏見が拡がらないよう、一人ひとりがお互いを思いやり、注意深く行動していきたいと願っております。



石上 智康 総長

釈尊(しゃくそん)が明らかにされた苦しみの根源である無明煩惱(むみょうぼんのう)、また親鸞聖人(しんらんしょうにん)が「煩惱具足(ぼんのうぐそく)の凡夫(ぼんぷ)」という言葉でお示しになった私た

(2ページへつづく)

### 皆様を招いてのお盆法要は 今年は中止されました

新型コロナウイルスの感染が拡大している現状を鑑み、今年度の盂蘭盆会法要は、プライベートのものを除き、皆様が集まってのお参りは断念致しました。今回お盆法要にお参りする事を楽しみにされていた皆様には深くお詫び申し上げます。

盂蘭盆会法要は、既にお浄土に生まれて行かれた親しかった友人、家族に思いを馳せ、共に偲び、そしてお念仏申しつつ、共に生れて行く世界があることを一緒に喜びご縁の日ということで「歓喜会」とも言われています。

これからも今行かされているこの身の有難さに思いを馳せ、日々歓喜の中で、ご一緒にお念仏のおいわれを聴聞させて頂きましょう。 合掌

来る9月20日には、春季彼岸会法要が勤められます。昼と夜の長さが同じくなるこの日に、西方浄土に生れて往かれた方々を偲ぶ中で阿弥陀様への感謝のお念仏を申させていただきます！ 合掌

### もくじ

総長ご挨拶	1-2
お盆法要について	1
お寺の予定表	1
今月の法話	2
平和のマラソン	3
今月のことば	3
スクリプチャークラス再開	4
ベトナム寺オン	4
ライン法要参加	
祥月の案内	4
ご 懇 念 録	4

## ★ お寺の予定表 - Calendar ★

Aug 16 (Sun) 11:00 am 盂蘭盆会 / Obon Service ( all services @BCNSW )

23 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

30 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

Sep 13 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

20 (Sun) 11:00 am 春季彼岸会&九月祥月/Spring Equinox Day & Shotsuki Service

※平和と開教事務所の未来の為にマラソン/Sydney Marathon for Peace 延期/Postponed

21 (Mon) [ 本願寺報発行 / New Bulletin Issue ]

Oct 4 (Sun) 11:00 am 十月祥月法要/October Shotsuki Memorial Service

11 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

18 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service

25 (Sun) 11:00 am 日曜礼拝/Sunday Service





『私という存在は、世界の人びととの「つながり」の中で生きているからこそ、やがて、共にこの苦難を乗り越えた時、世界中の人びとと喜びを分かち合えることでしょう。』  
(石上智康総長の声明より)



2020(令和2)年4月14日

浄土真宗本願寺派総長 石上 智康



京都 本願寺

ち人間の根本に潜む自己中心性に思いをいたし、このような時にこそ、人と喜びや悲しみを分かち合う生き方が大切ではないでしょうか。仏教には、「あらゆるものは因縁(いんねん)によりつながり合って存在しており、固定した実体はない」という「縁起(えんぎ)」の思想があります。新型コロナウイルスの感染拡大の原因は人との接触であるとされ、本来大切な人との「つながり」が、今は安心感ではなく、不安をもたらすものとなってしまっています。しかし、「つながり」を表面的に捉え、危険なものと否定的に考えてはなりません。世界的な感染大流行という危機に直面する今だからこそ、私たちは仏教が説く「つながり」の本来の意味とその大切さに気づいていく必要があります。

今重要なことは、仏智(ぶっち)に教え導かれ、仏さまの大きな慈悲(じひ)のはたらきの中、共に協力し合って生きる大切さをあらためて認識し、感染拡大をくい止めることです。緊急事態宣言がコロナ危機を克服してくれるわけではありません。この困難を開くことができるか否かは、多くの関係者のご尽力とともに、私たち一人ひとりの徹底した適切な行動にかかっています。

私という存在は、世界の人びととの「つながり」の中で生きているからこそ、やがて、共にこの苦難を乗り越えた時、世界中の人びとと喜びを分かち合えることでしょう。それぞれの立場において、この難局で法灯(ほうとう)や伝統を絶やさないために何ができるかを考え、「そのまま救いとる」とはたらいてくださるお念仏の心をいよいよいただき、共に支え合い、力を合わせるのです。誰もが安心して生活できる社会を取りもどすことができるよう、精いっぱいにつとめを果たしてまいりましょう。

## お盆の法話

## お盆のおいわれ

「お盆」は正式には、「盂蘭盆会(うらぼんえ)」という言いますが、これはインドのサンスクリット語、「ウランバナ」から来ています。その意味は、逆さ吊りを意味する「到懸」です、と聞くと驚かれることと思います。逆さ吊りですから頭を下にしてつり下げられているとてつもない苦しみのことを言っているのです。一体、これがお盆とどう関係が有るのかと想像されることでしょう。いったい誰がこの逆さ吊りのような苦しみを味わっているのでしょうか？それは、釈尊十大弟子の一人、神通力第一の目連尊者のお母様の事を指しているお話でした。



目連は餓鬼道にいた母にいくら食べ物差し出しても火に包まれ食べられませんでした。

『盂蘭盆経』によりますと、ある日、目連尊者が生前優しかった母が今はどうしていらっしゃるかと思い、修行で得た神通力を使いお母さんを探しました。

自分の愛する母は当然天上界にいたいと思いい、一番上の世界を見たのですが、どこにも見当たりません。そんなことはないと思いつつどんどん下の世界を恐る恐る見て行きます。が、どこにもその姿はありません。最後にまさかと思いながら一番下の世界である地獄を見たところ、何と餓鬼道に落ちて骨と皮だけになっている母を見つけたのでした。その時の目連の受けたショックは大変なものでした。

目連尊者は何とかせねばと思い母を救うべく食べ物を用意し差し出すのですが、差し出した物は全て目の前で炎となって燃え尽きてしまい母と目連の苦しみは増していくばかりでした。

途方に暮れた目連はお釈迦様の元へと行き何故母があんな世界に落ちているのか、どうしたら救えるか相談したところ、お釈迦様は、目連にこう伝えられました。

「目連、お前には優しかったお母さんではあったが、他の人と分かち合うことをしなかったために母さんは餓鬼道という地獄に落ちなければいけなかったのだよ。だが、目連、お前がお母さんに代わり、全ての縁ある人たちに食べ物を施すことにより、お母さんは救われて行くであろう。」

その言葉に従い、夏の勉強会の終わった日に全てのお釈迦様の弟子たちを招待し、沢山の食べ物を施したのでした。みんなにご馳走



を食べてもらい大変喜んでくれたので、それにより、母が救われて行ったのを見届けて、目連も大いに喜び小躍りしたのでした。そして、それが盆踊りの起源となりました。

みんなが喜びを分かち合ったと言うことでお盆のことを「歓喜会（かんぎえ）」とも呼ばれています。

合掌

オーストラリア開教事務所 所長 渡部重信



平和と開教事務所の未来のための

## *Sydney Running Festival Postponed!*

シドニーマラソン 11月に延期に！

2020年11月8日(日) 午前7時出走

● 来たる9月20日(日曜日)に行われる予定だったシドニー・マラソンが、コロナの第二派の影響を受け11月8日に順延されました。開教事務所では報恩講をその日に予定していましたが、一週間遅らせることとし、ゲストのジョン師にも了解を得ましたので、報恩講の日を11月15日と変更しました。

●世界平和と、オーストラリア開教事務所が、お寺となるための未来に向けて走るこのイベントに寄付を受け付けております。

●この一年に一度のイベントに対し、是非開教事務所のために寄付を申し出たいと言う方は、「Peace Run」と明記された上で、下記口座までご入金をして下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

ご寄付受付先口座 (WESTPAC銀行NEUTRAL BAY支店)

ACCOUNT NAME : HBMA  
BSB : 032 197  
ACCOUNT NO : 48 1501  
DESCRIPTION : PEACE RUN

●このイベントに、もし自分も参加したい！とおっしゃる方は是非、下記サイトから申込を行って下さい。

<https://www.sydneyrunningfestival.com.au/>

●エントリーには、3.5kmの家族ラン、10kmのブリッジラン、21kmのハーフマラソン、そして42kmのフルマラソンと、選択肢がございますので、自分が挑戦するカテゴリーを選んで下さい。一緒にできますことを心より願っております。 合掌



今月のことば

ねんぶつ  
念仏もうすところに  
たあ  
立ち上がっていく  
ちから  
力があたえられる  
にしもとそうすけ  
出典『み仏の影さまざまに』西元宗助  
一九〇九年〜一九九〇年




*When we say the  
Nembutsu,  
we are enabled with the  
power to continue living*

*"Mihotoke no kage samazama ni"*  
By **Sosuke Nishimoto**



(真宗教団連合刊「2020法語カレンダー」より)

## スクリプチャークラス再開される

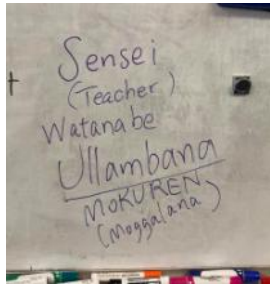
 コロナ対策で学校にボランティアに行けない日々が続いていて、そのまま冬休みとなりましたが、三学期が始まるとともに、西ゴードン小学校での仏教スクリプチャークラスも7月22日末から再開され、元気いっぱいの子供たちとまたお釈迦様の教えについての授業を行っています。

子供たちは、お釈迦様の日々の生活の中で為になる言葉をまとめた聖典から、毎週新しいお話しを読みそこから大切なことを学んでいます。

八月に入り、二週間に渡りお盆のいわれとなった目連尊者とお母様の話を紹介し、自分のことばかり考えず、みんなとシェアすることの大切さを説いて聞かせました。とは言え、



西ゴードン小学校



(上)クラスでお釈迦様のビデオを見て  
いるところ。(19/08/20)

このご時世、コロナ感染のせいで、シェアすることが学校でも禁止されていますので、あまり強くは言えませんでした。それに加え、自分の先祖を敬うことは大切であるが、それと同様に、自分の身の回りにいる人、友達、家族、毎日会う人すべてがみんなにとって先

生であるから、大切にしないといけない存在であることを伝えました。そして残りの時間はいつもお釈迦様のアニメーションを紹介しています。このような感じでみんなで和気藹々、楽しく授業をしています。 合掌



### 渡部開教使オンラインによる

### 2020年フォクフエ寺のウェサク法要に参加！



新型コロナウイルスの感染拡大の影響でお寺でゲストを招待して法要を行う代わりに、ベトナム系仏教寺院のフォクフエ寺では例年招待

している僧侶たちからの読経や、メッセージを集め、YouTubeで動画を作り配信するという企画を立て私も参加させて頂きました。



### 九月の祥月法要

August Shotsuki Memorial Service

Okuyama, Ayako

奥山 綾子 様 (2006)

Hayashi, Masao

林 正男 様 (2003)

Natsume, Emiko

夏目 笑子 様 (1988)

上記の方々が9月に祥月を迎えられます。ご家族、或はご縁のございます方は、来月9月20日の午前11時にお勤めされます祥月法要にどうぞお参り下さいませ。

## ご 懇 念 録

## Expression of Dana/Gratitude



この三ヶ月間で、下記の方々より総計 5,440.00ドルのご懇志をご進納いただきました。また、お賽銭箱には、計18ドルが浄財として参拝者より喜捨して頂きました。この浄財は本願寺設立基金へ進納されました。有り難うございました。 合掌

In the past 3 month, donations to the amount of 5,440.00 were offered to the Amida Buddha through the Hongwanji Buddhist Mission of Australia. HBMA members and attendants have also deposited \$18.00 in the donation box which also deposited to the Hongwanji Temple of Sydney Building fund. The HBMA acknowledges the donors and would like to express our sincere gratitude to the following for their generous donations:

- \* Rev Mark Healsmith — Membership contribution for 6 months
- \* Ms Ayako Mitsui Browne — Donations
- \* The Wright's — Fusako Wright's funeral
- \* Mr Ian Boreham — Wife (Maki Boreham)'s funeral
- \* Ms Janet Mitsui — Husband (Takaaki Mitsui)'s funeral
- \* Mr Norman Fung — Membership contribution
- \* Ms Yoshiko Gault — Special Donation
- \* Mr Jonathan Shearman — Donations
- \* Ms Hitomi Howard — Membership & Donation
- \* Mr Hisakazu Akiyoshi — Donations
- \* Ms Shizuko Takeda — Donation
- \* Japan Club of Sydney — Printing honourarium (June, July & Aug)



Thank you very much in Gassho



42.195  
KMSBLACKMORES  
SYDNEY RUNNING FESTIVAL  
Sunday Telegraph  
OFFICIAL SPONSOR

## Run for PEACE & RUN FOR THE FUTURE OF HBMA 20 September 2020 → POSTPONED TO NOVEMBER



Rev Watanabe was once again planning to join the Sydney Running Festival and run 42.195km for the **WORLD PEACE** and also the **FUTURE OF HONGWANJI BUDDHIST MISSION OF AUSTRALIA**.

The date of the event was first set on 20 September, but now postponed to 8 November. So, we will also postpone our **Hoonko service to 15 November**. If you wish to donate for this event to support Reverend's Run, please make a donation to the following account.



Rev Watanabe finished 42.195km with time of 4:08.09 last year. (15/09/19)

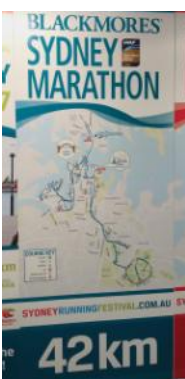
ACCOUNT NAME: HBMA

BSB: 032 197

ACCOUNT No: 48 1501

DESCRIPTION: "PEACE RUN"

If you wish to join this festival, you are most welcome to do so. There are also other categories: a 3.5km family run, a 10km and a Half Marathon (21.095km). You may experience the exciting run to the centre of Harbour Bridge. In Gassho,



## Scripture Class on the move! At Gordon West P.S.

Scripture class resumed on 22 July and students in Gordon West Public School are now studying the Buddha's life story.



For the last two weeks we also discussed the celebration of Ullambana / Obon as 15 August, which has already come and gone.

In Gassho,



# BULLETIN



Buddhist Council of NSW

Working for the Buddhist Community

## Rev Watanabe attended online AGM of the Buddhist Council of New South Wales on 26 July 2020



(Right) Representatives from each Buddhist temple/group participated in the AGM. (26/07/20).



Subcommittees were also held by different topics (26/07/20).

On Sunday 26 July, Rev Watanabe participated in an online meeting for the BCNSW AGM to share his thoughts and discuss how we as Buddhists should act for the benefit of the general public during this Covid-19 Pandemic period. In Gassho,



## Rev Watanabe Participated in Phuoc Hue Vietnamese



## Temple eVesak service 2020 !

Reverend Watanabe was requested to join the 2020 eVesak service of the Phuoc Hue Temple (Wetherill Park) and offered a chant for the part of their ceremony of international prayers together with other temples' monks. In Gassho,



Phuoc Hue Temple



During minister's Dharma message, pictures of previous Vesak ceremonies were shown on the screen.

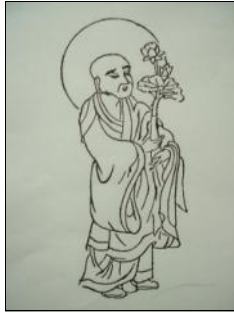


**drops of dew."**

Rennyō Shonin ended his message as follows: ***"Thus, we see that what man cannot control is the passing away of the young, and old alike. Therefore, we should all look to our future life and with deep reliance on Amida Buddha say the holy Name."***

In the Ullambana sutra, we can find the origin of the Obon service.

I assume many people love their mother the best. One of the ten great disciples of Shakyamuni Buddha, whose name was **Mokuren** (Maudgalyayana) also loved his mother, because his mother loved him very much.



**Mokuren**

According to the Ullambana Sutra, one day Mokuren was reflecting upon his beloved mother who had already passed away. At that time, a question came to his mind,



***"What is my mother doing right now?"***

He had supernatural powers, which he had obtained through his hard practice, so he was able to see people who had already died. So, Mokuren used this power to search for his beloved mother and found her.

**Mokuren tried to feed his mother but food was all burnt.**

Alas! - It was a big and sad surprise for Mokuren that his mother was suffering in the hell of hungry demons. It was an unbelievable scene for him. His mother was very skinny and almost just flesh and bone. Mokuren rushed to her, and tried to offer some food, but all of it caught fire in front of his mother. He tried many times but nothing worked. Mokuren had no idea what to do, so, he went to see Shakyamuni Buddha.

Buddha listened to the story, and then told Mokuren why his mother had to go to such a world:

***"Mokuren, your mother is suffering right now, because she did something wrong when she was in the human world".***

But, Mokuren could not believe it and said:

***"She was always a very kind and wonderful mother, what did she do?"***

Sakyamuni said,

***"I know she was really a wonderful mother, but she was good only to you, not to others. Whenever she had something good, she hid it from others and gave it to you, Mokuren. Your mother never shared things with others."***

Mokuren said, ***"Is it because of me?"***

***"Yes, Mokuren."*** Buddha replied,

***"She loved you so much".***

Mokuren then asked,

***"What can I do for her?"***

Buddha said,

***"There is a way to save your mother. Because she did not share things with others and went to the hell of hungry demons. Therefore, if you offer and share things with others on behalf of your mother, and if they are pleased, then your mother will be all right."***



In accordance with Buddha's word, Mokuren prepared more than enough food and shared it with all the Buddha's disciples on the last day of their summer study meeting on 15 August. They ate everything and all the disciples were very pleased. Then Mokuren was finally able to see his mother's peaceful smiling face. Mokuren was very happy as he jumped and danced with joy!

Since then, every year on the same day, the same thing was done. This is the origin of the Obon and the Obon dance.

As I write this article, I wonder if we are still doing the same thing as Mokuren's mother. Whenever we get something good, we don't share it with others, but only share it with our children. From the Buddha's point of view, all human actions are beset with selfishness. So we can't count how many selfish acts we make for the sake of our children, family or loved ones. These actions may commit us to go straight to the Hell of hungry demons. The only way for our salvation is to encounter the Vow of Amida Buddha; to encounter the teaching of the Nembutsu, and live the life of appreciation, embraced in the warm arms of Amida Buddha.

Let us recite Namo Amida Butsu showing our appreciation to Amida Buddha who works all the time for us all. - Namo Amida Butsu -

In Gassho,  
Rev Shigenobu Watanabe



### **REV WATANABE PARTICIPATED IN BUDDHIST TOOL KIT FOR LGBTQIA+**



Rev Watanabe, participated in the online Workshop called "Buddhist Tool Kit for LGBTQIA+" on Sunday 26 July and deepened his understanding about LGBTQIA+ Buddhists. He also discovered how rejoicing in the happiness of others increases the happiness of us all.

In Gassho,



The spread of Covid19 is due to the person-to-person contact. Consequently, we no longer feel relief but, instead, anxiety about our 'human connectedness,' which was originally something that was highly cherished. Therefore, we must not come to regard our 'human connectedness' negatively as something of great danger. Precisely because we are now facing this worldwide pandemic, we must become even more cognizant of the original meaning and the importance of our 'human connectedness.'

What is crucially important at this time is for us to be guided by the Buddha's wisdom and to work cooperatively together within the workings of Buddha's great compassion. In so doing, we can reaffirm the importance of being alive and to bring an end to the spread of this disease. It is not the governmental announcement of the state of emergency that will defeat this Coronavirus crisis. Instead, it is the thorough and appropriate actions of each one of us, in cooperation with many others, which will determine whether or not we can bring the current crisis to its end.



Namo Amida  
Butsu

Precisely because my very existence is made possible within the connectedness with the people of the world, we shall be able to rejoice with them when we eventually overcome this difficulty together. Within our respective personal circumstances, we are encouraged to think about what we can do to combat this crisis without diminishing the Lamp of Dharma and our tradition. And we shall cooperate and pool our resources as we receive the mind of Nembutsu that reaches us from Amida Buddha, promising to "liberate us just as we are." So, let us do our part to the best of our abilities in order to regain our society, in which everyone can live with a peace of mind.

April 14, 2020



Chiko Iwagami  
Governor General,  
Jodo Shinshu Hongwanjiha

### Let us plan to attend the service in 2023

According to Gomonshu-sama's message, there will be another historic event in 2023 in Kyoto, celebrating **850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth** and the **800th Anniversary of the**



## BULLETIN

**Establishment of the Jodo Shinshu Teaching.** Therefore, we should plan to have our group tour from Australia to Japan and together we celebrate the joyful day when Shinran Shonin was born into this world. This is the once in a lifetime occasion, so we should not miss this event.

Please let HBMA office know your interest of joining to this group tour to Japan. Hope we can make a good size of tour group from Australia. In Gassho,



Shinran Shonin  
1173-1262

### Dharma message

### Why do we commemorate Obon ?



Obon is a good time to reflect upon our loved ones who departed before us and show our appreciation to Amida Buddha who let them be born into the Pure Land saving everyone who encounters the teaching of Nembutsu.

We all commemorate our loved ones who have already departed from us at this Obon time. However, as Jodo Shinshu followers, we shouldn't miss the essence of the Obon. Remember that if we only think about our ancestors at this time, it won't be a religious observance. Each one of us should be involved in this service. That is, we should think about and realise our own future lives. Because, we are also going to Amida Buddha's Pure Land where our ancestors are.

There is a famous Haiku (Japanese 17 syllable poem) which describes our human world as impermanent. It says "Chiru Sakura Nokoru Sakura mo Chiru Sakura (Cherry blossom falls, inevitably all blossoms fall)." There are no exceptions, and no one can live this life forever.



Sakura blossom



Rennyō Shonin

As Rennyō Shonin, the 8th Gomonshu, also wrote in his letter: *"We have not heard of anyone receiving human form which lasts for ten thousand years. The course of life ebbs away very rapidly. Can a person preserve his body for a hundred years at the present time? Not knowing whether death will come today or tomorrow, those who depart from us are as countless as the*

(Continues on page 3)



# BULLETIN

Volume 20 - No. 5  
24 August, 2020


*Hongwanji Buddhist Mission of Australia*



PO Box 292 Lindfield (Sydney)  
N.S.W. 2070 AUSTRALIA  
Phone : (02) 9403-1256  
Mob : 0412 - 396 - 014  
Email : hbm@optusnet.com.au  
<http://www.hongwanji.com.au>

The following statement by Chiko Iwagami, Governor General, Jodo Shinshu Hongwanji-ha was released April 14, 2020.

## Jodo Shinshu Buddhist Statement on the COVID-19 Pandemic

 The Covid19 pandemic has spread throughout the world and shows little sign of ending. Here in Japan, we have entered a new stage with the announcement of the state of emergency. First, I wish to express our sincerest condolences to those in Japan and the rest of the world, who have passed on due to Covid19 pandemic. And to those who have become ill, we send our best wishes for a speedy recovery. Moreover, we express our deepest admiration and gratitude to all the doctors, nurses and medical staff for their heroic effort to treat and save the patients, even at the high risk of danger to themselves.



Governor General  
Chiko Iwagami

During this crisis, people around the world are confronting the enormous set of challenges by working together through mutual cooperation and encouragement. However, it has been pointed out that one of the causes for the spread of the disease lies in the actions of asymptomatic people who are unaware that they have contracted the virus. We must, therefore, understand its dangers and the correct response to the virus and act accordingly. We are requesting everyone to show genuine concern for one another so as not to allow the spread of any kind of discrimination and prejudice. Let us act properly based on our careful consideration of the implications of our action.



Nishi Hongwanji Kyoto

The Buddha taught us that ignorance and afflictions are the cause of our suffering.

### Inside This Issue

Message from Governor General Chiko Iwagami	1-2
Dharma message (re: Obon Service)	2-3
Buddhist LGBTQia+ workshop	3
News - Marathon, Scripture, BCNSW AGM, eVesak	3-4

And Shinran Shonin revealed to us of the truth of our self-centeredness that lurks at our core through the words, "we foolish ordinary beings possessed of afflictions." Given these truths, isn't it important that we share in the joys and pain precisely because we are in such a difficult time? In Buddhism, we value the teaching of 'interdependence,' which points to the reality that 'all things exist by being connected through the workings of causes and conditions' and are, therefore, 'without any fixed substantial entity.'



(Continues on page 2)



## 2020 SPRING OHIGAN

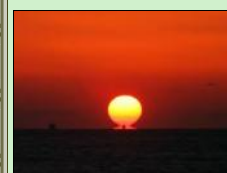


As the Sydney Marathon has been postponed to November, we are now planning to observe our O-Higan service on 20 September.

As the sun sets into the Golden West where Amida Buddha's Pure Land is, during the equinox period, we commemorate those who



Rev Watanabe



Sun set

were reborn into Amida's Land during O-Higan week and show our appreciation to Amida Buddha.

In Gassho,